

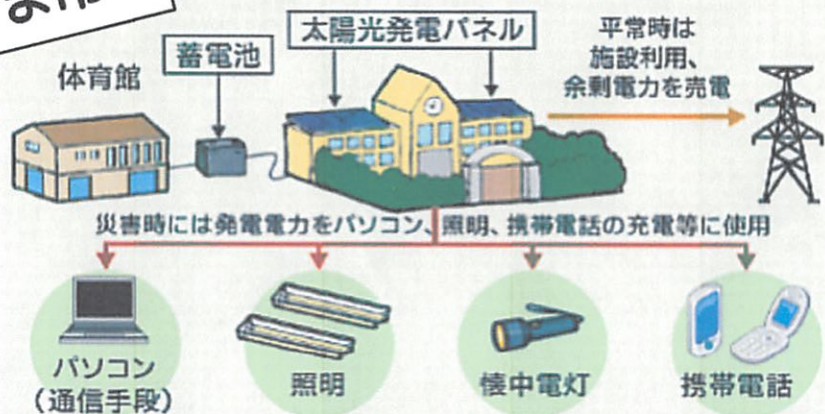
さいたま市

# 市立(152)全校に

## 太陽光発電設備 蓄電池設備

# を設置

## 25年度から3年計画で



### 主な設備の性能

- 太陽光パネル 20KW
- 蓄電池容量 定格で13KWh

### 152校落札価格

(既に20校は太陽光発電設備設置済み)

2,848,000,000円(税抜)

この落札価格を単純に川西市に当てはめると

川西市は26校なので

487,157,895円

### 学校に導入する効果

- ◆再生可能エネルギーの導入拡大につながる。
- ◆子どもたちは、再生可能エネルギーを身近に感じるようになる。
- ◆学校は災害時の防災拠点になり、太陽光発電は非常用電源となる。携帯電話やパソコンの充電、照明等に使うことができる。

\*学校に導入している所ではこのような報告がされています。

### 【中央北地区開発には92億円】

単純に当てはめることはできません。しかし市内全校(152校)に太陽光発電設備、蓄電池設備を設置しても驚くほど莫大な費用は掛かっていません。

さいたま市長が議会に提案している税込み価格の提示は約30億円です。

川西市では中央北地区開発で総額92億円という多額の税金投入が計画されています。

川西市では学校の冷暖房設備の整備も急がなければなりません。その時に電気を賄ううえで大きな力を発揮するのが太陽光発電設備等です。一定の初期投資は掛かりますが決して無駄になることはありません。太陽光発電設備等の設置を進めましょう。

(さいたま市のホームページを参照させていただきました)



みなさまの願い実現に  
力いっぱいがんばります  
川西市議員  
**北野のり子**

川西民報

2014年9月号外3

発行 日本共産党  
川西市委員会  
電話 792-2164

# この先進的な取り組みを川西市でも!

さいたま市は「さいたま市エネルギー・スマート活用ビジョン」新エネルギー政策のリーディング事業として、平成25年から平成27年度の3年間で市立学校152校に太陽光発電設備および蓄電池の導入を行い、再生可能エネルギーの導入拡大およびエネルギーセキュリティの強化を図ります。と策定し、このもとに現在、工事が行われています。